

部局名	都市整備部	所属名	土木建設課	所属長名	森田 陽一	電 話	483-1151 内線3620
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3299		事務事業名称	道路改良事業						短縮コード	経常		臨時	3299
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	02	道路橋梁費	目	03	道路新設改良費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他		根拠法令等		道路法第16条, 42条									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
昭和27年6月, 道路法施行日から 市道の整備														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の 施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして							
モータリゼーションの普及により, 既存の道路構造では対応できなくなってきたため, 拡幅などの改良が高まった。					大項目（節）	02	道路							
					中 項 目	02	市道							
					小項目（施策）	02	一般市道の整備							
					細 項 目	02	市道の整備							
						03	橋梁の整備							
				実施計画の 計画事業	4209	道路新設事業								
					4210	道路・橋梁改良事業								
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市が管理する道路							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 道路改良・新設工事（二次改良, 局部改良, 道路改良, 道路新設）							
	※平成20年度に計画していること： 道路改良・新設工事（二次改良, 局部改良, 道路改良, 道路新設）							
意図 （何を狙っているのか）	地区間の円滑な移動を確保する							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	要整備件数	件	10	3	16	5	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	整備件数	件	10	3	16	5	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	整備率	%	100	100	100	100	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3299		事務事業名称		道路改良事業		所属名		土木建設課	
				単位	1 8 年度	1 9 年度			2 0 年度		
					実績	計画	実績		計画		
事業費 (A)	財源内訳	国		千円							
		県		千円							
		地方債		千円							
		一般財源		千円	210, 011	216, 132	205, 640	122, 925			
		その他		千円							
	主な事業費の内訳				改良工事(2件) 34, 555千円 二次改良工事 (3件) 69, 333千円 局部改良工事 (3件) 8, 652千円 公営墓地進入路 (小池11号線) 築造工事 (2件) 63, 899千円	工事請負費 174, 757千円	工事請負費 163, 519千円		工事請負費 115, 661千円		
人件費 (B)				千円	52, 146. 8	58, 489. 7	51, 257. 3	32, 517. 5			
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)				千円	262, 157. 8	274, 621. 7	256, 897. 3	155, 442. 5			

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		「道路改良事業」は上位の施策「一般市道の整備」にむけ推進しており，結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		今後とも市道の安全な通行を確保していくために必要である。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		道路法に市の道路管理者としての責務規定があるため。				
☒ 可能性はない									
☐ 評価対象外事項									
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		目的の変更はなく，現状の対象と意図で結果に結びつくことが出来る。					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		安全な通行を確保するため，道路改良工事の要望に応じ，有効性・効率性の点からも適正に事務を遂行している。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性がある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
						2		実施主体 (所管部署)	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	3299	事務事業名称	道路改良事業				所属名	土木建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			安全な通行を確保するため、今後とも適正に事務を執行していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止							
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			この事業を継続するのに当たり、経費・成果ともに不変である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
道路の拡幅，交差点の改良，排水整備等の要望が多くあるが，迅速に対応できていないため市民からの不満が慢性化している	

所属長コメント	市民生活の利便性の向上を図り，生活空間とし親しみやすい道路環境を創設していくために，今後とも継続して予算を確保していく必要がある。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	